

職能科通信 16号

2012年10月発行 <http://www.kanagawa-rehab.or.jp>

〒243-0121
神奈川県厚木市七沢 516
神奈川県リハビリテーション病院
職能科
TEL&FAX 046-249-2575

2012年夏 七沢学園就労移行支援事業見学会

来年度の就労移行支援事業利用者の募集に向けて、今年も見学会を実施しました。

見学会は2日に渡り行われ、8月8日、9日両日ともに22名、計44名の見学がありました。

見学の流れは、七沢学園就労移行支援事業の説明と全体の紹介があり、その後、寮の見学・訓練場面での作業体験(キーホルダー(皮細工)作り)・質疑応答という形で進められました。

訓練場面の紹介としては、就労に向けて準備をする部分(図1)の説明・作業内容・学習プログラム・体験実習を紹介させて頂きました。

参加者のニーズは様々で、入所を考慮に入れた見学の方から、就労移行支援事業の経験と見学だけに来ましたという方までいらっしゃいました。

参加者の傾向としては、3年生の参加は少なく、今後の方向性を組み立てる前段階として2年生に、施設での就労移行支援事業を体験させる場として参加した方が多かったようです。

～キーホルダー(皮細工)作り(写真1)～

作業体験で行うキーホルダー(皮細工)は、皮に打刻して色を塗って乾かし、金具を付けるだけの作業ですが、キーホルダーを作っている姿をみると、作業への取り組み姿勢や巧緻性、指示理解力、構成力、コミュニケーション能力等、作業能力が大まかにではありますが、分かってきます。

図案の考案から始まるのですが、適当な図柄を打刻して済ませてしまう方や、図案が決まらず作業に入れられない方、口頭説明だけで作業を理解してどんどん進められる方や、理解できず都度の助言が必要な方、落ち着いて取り組める方からちょっとした声掛けに反応して怒ってしまう方まで、本当に様々な方が見学に来ておられました。

又、今年度は、就労移行支援利用者にも見学者の作業体験の手伝いに入ってもらいました。コミュニケーションを取る練習という意味では、良い体験になったのではないかと思います。緊張しながらも丁寧に教えている人、何から手をつけたらよいのか分からず、立ち尽くしている人…。様々でしたが、1年前は教えてもらう側に居た彼らが、一生懸命手伝いに取り組んでいる姿を見て、力強さを感じたのと同時に、「成長したんだなあ」と、しみじみ感じ入ってしまいました。

このように、毎年見学会が行われてきました。そして来年の桜咲く頃…。就労を目指す仲間として、七沢を選び、来ていただけるよう祈りつつ、より良い支援プログラムの提供に日々努めて行きたいと思えます。(山本 和夫)

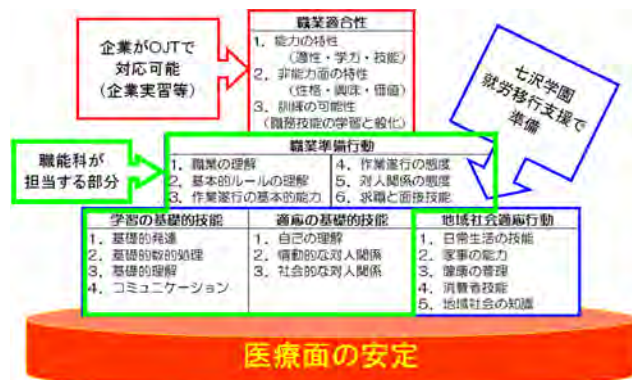


図1 職業準備



写真1 キーホルダー

園芸作業

職能科で行う作業種目の一つに園芸があります。「園芸」は、乗馬などアニマルセラピーも含めて「生物活用」という枠組みで考えられることもあり、生き物と触れ合うことによる精神的効用が最も期待されています。一般の作業では、作業の手を止めてしまうと成果が上がりません。精神的に落ち込んでいる方にとって、集中力を要する作業の継続を負担に感じてしまうことがあります。園芸は日光が植物を成長させていく特徴があります。訓練で園芸に興味を持ち自宅でも行なうようになり、育て方を質問してこられ、書籍を参考にして年間栽培計画を立てたりインターネットの使い方を説明して情報収集をしていただくなど、さまざまな展開があります。写真2は、外来患者の方が種を入手してきた中近東産のキュウリです。大きく育てて収穫し、皮と種を取り除いてドレッシングでいただきます。(伊藤 豊)



写真2 園芸作業

就労支援の実績

職場内リハビリテーション実施人数	
2012年7月・8月・9月の人数	3名
2011年4月からの累計人数	7名

就職・復職者の人数		
2012年7月・8月・9月の 就職・復職者	新規就労	—
	復職	5名
2012年4月からの累計	新規就労	8名
	復職	14名

職業準備学習②

職能科では、毎年、新規就労を目指している方を対象に、職業準備プログラムを実施しています。秋からスタートする障害者合同面接会に向けて、障害者雇用制度や利用できるサービス、ハローワークの利用方法、履歴書の書き方、採用面接の受け方などを全4回の日程で学習していきます。実際の求人票を元に、履歴書を作成したり、職員が面接官の役割をして模擬面接を実施したりと実践的な学習プログラムになっています。

また、今年度は、ハローワーク厚木の統括職業指導官である八木様にお越し頂き、「ハローワークの役割と就職活動の実際」というテーマで職業講話をして頂きました。昨年度は、7名の外来患者さんが職業準備プログラムに参加され、3名の方が就職をされました。今年度も7名の外来患者の方が職業準備プログラムに参加されました。一人でも多くの方が就労できるよう、引き続き支援を進めていきます。(小林 國明)



写真3 面接練習